

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	あげち りしょう		
氏名	畦地 履正		
所属	株式会社四万十ドラマ		
役職	代表取締役社長		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒 786-0504	高知県高岡郡四万十町十川9-5
	電話番号	090-3183-3797	
	メールアドレス	<a href="mailto:risho@shimanto-drama.jp">risho@shimanto-drama.jp</a>	
キャッチコピー			
自己PR	四万十ドラマで培ってきたノウハウを全国に広げていきたいと思いを。		
関連ホームページ		名称	アドレス
		四万十ドラマ	shimanto-drama.jp
2. 略歴・受賞歴			
略歴・ 受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成6年に、四万十川中流域の大正町、十和村、西土佐村が設置した第3セクター「株式会社四万十ドラマ」の事務局に勤める。</li> <li>◆平成17年に完全民営化の株式会社として自立。</li> <li>◆平成20年度 農林水産省「立ち上がる農山漁村」認定</li> <li>◆平成20年度 高知県「高知県地場産業大賞」大賞受賞</li> <li>◆平成21年度 経済産業省「ソーシャルビジネス55選」認定</li> <li>◆平成22年度 地域づくり総務大臣表彰 優秀賞受賞</li> <li>◆令和4年度 ティスカバー農村漁村の宝 優秀賞受賞</li> <li>◆令和5年度 全国イノベーションアワード 堀場雅夫賞受賞</li> </ul> <p>◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）</p>		
3. 取組分野			
● 観光	(道の駅立ち上げ運営企画 )		
● 農林水産業	(6次化産業の仕組み作り及び企画商品開発展開 )		
● 起業支援	( )		
● まちなか再生	( )		
● 集落再生	( )		
● 環境	( )		
● その他	(地域商社 )		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家 (活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2010年度 福島県三島市 「地域の魅力発掘、地域の食材を活かした新料理メニュー、着地型観光プログラム、地域への集客の為のPR」</li> <li>◆2016年～18年度 石川県羽咋市 「循環型産業システム構築事業～のと羽咋美味しい創出プロジェクト～」</li> <li>◆2018年～19年度 新潟県阿賀町 「地域内産業の連携と地域資源を活用したビジネス創出事業」</li> <li>◆2019年～20年度 香川県三豊市 「三豊市地域農産物付加価値づくり事業」</li> <li>◆2022年～24年度 山形県庄内町 「庄内町ブランドの構築による地域の稼ぐ力創出事業」</li> <li>◆2025年度～ 福島県柳津町 「赤へこ伝説発祥の町・やないつ」農林業と商工業をつなぐ持続可能なふるさとづくり事業」</li> </ul>		



## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績

### 【取組事例①】

(1) 事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 対象地 : ○○県 ○○村

(3) 事業目的:

(4) 事業内容:

(5) 事業による成果:

### 【取組事例②】

(1) 事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 対象地 : ○○県 ○○村

(3) 事業目的:

(4) 事業内容:

(6) 事業による成果:

### 【取組事例③】

(1) 事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 対象地 : ○○県 ○○村

(3) 事業目的:

(4) 事業内容:

(5) 事業による成果:

### 【取組事例④】

(1) 事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 対象地 : ○○県 ○○村

(3) 事業目的:

(4) 事業内容:

(5) 事業による成果:

### ※上記以外の取組内容・実績

四万十川の自然環境を保全しながら活用することをベースに、約100種類の独自商品の開発・販売に取り組んでいる。100%四万十茶葉で作られた大セット商品「しまんと緑茶」、「しまんとほうじ茶」を始め、ノベルティー商品「四万十天然ヒノキ風呂」「しまんと地栗」等、環境に負担をかけないものづくりを展開。

地域資源の「生産の現場」を保全しながら、活用し、そこから生まれた「商品」が地元に戻って来る「地元発着型産業」のトップランナー。その具体的なコンセプトは「ローカル」「ローテク」「ローインパクト」。これらが循環する新しいコミュニティビジネスを展開しています。この考え方を軸に「ローフード」「ローライフ」の提唱を加え、山と川の暮らしと天然素材に新しい価値観をつくり流域に住む人とともに生活文化、技術、知恵、風景を残しながら、四万十川流域の新たな産業をつくります。

さらに、商品販売だけでなく、今まで培ってきた「商品開発」「道の駅事業」「地域商社」等のノウハウを他地域へ移転するコンサルティングも行っています。